

「熊本市南区ワークショップ・富合校区」 9月5日(木) 午後7時～9時 アスパル富合研修室

《南区まちづくりビジョン》の実現のため中学校区という地域全体でまちづくりの現状や課題などを共有し、その課題解決に向け、改善策と新しいまちづくり活動を考えるために開催されました。各地区長を中心に 20 名が参加。進行は熊大政策創造科の田中先生。南区役所からは永目区長、佐々木次長の他 10 名の職員。

まず、富合のまちづくりの○(いいところ)と×。次に、○をもっと活かすには、×を○にするためにやってみたいまちづくりの活動、取り組みについて、席替えをしながら意見交換。「地区の具体例」「富合校区へ引っ越して来られた方、家族とのコミュニティ」「六殿神社秋季大祭への想いと課題」「今後の交通システム」「通学路」「子供達の遊び場」等々。今後、まちづくりへ活かされていくでしょう。



田中先生の熱意が
伝わります



アシスタントの熊大生の
貴重な意見も



シートには びっしりと



富合在住の職員の顔も

「金婚夫婦表彰式・敬老会」 於 アスパル富合ホール 主催 富合校区社会福祉協議会

9月21日(土)、午前10時より式典が開催され、村崎会長から「おめでとうございます。ご家族みなで喜びのことでしょう。これからも仲良く元気でお過ごしください」の言葉を添え、賞状と記念品が手渡されました。くつき市議は「出会いがあり、この人ならばとご夫婦になり50年はあつという間の50年と感じているのではないのでしょうか。これからのお二人のお幸せをお祈りします」。宗良治熊本市南区役所次長は「いたわり合い、1日1日をゆかいに過ごされることをお祈りします」とお祝いの言葉。

最後に、敷島具己・弘子御夫婦(国町)が、金婚夫婦を代表して次のように謝辞を述べられました。「この50年という長い歳月を振り返ってみますと、夫婦で手を取り合って、苦労や幸せをかみしめて過ごしてきたように思います。今後残された人生を地域の皆様と一緒に楽しく過ごしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。社会福祉協議会の益々のご活躍をお祈りし謝辞とさせていただきます」

「おじいちゃん、おばあちゃんおめでとうございます」

「敬老会」は、「まこと保育園」園児のお祝いの言葉と和太鼓演奏で始まりました。



元気をプレゼント



演奏を終えて いい笑顔です

記念講演 「旅と朗読そして妻～金婚の方々へエール～」 講師 勝 敏彦氏



NHKアナウンサー時代の笑顔を見せていただきました。ご夫婦で旅されたトルコと日本のつながりについてのお話と旅の思い出。「朗読のリズム」について。最後に聞かせていただいた詩「祝婚歌」は金婚夫婦への大きなプレゼントになったことでしょう。

「120年前(明治23年)のトルコの特使一行を乗せたエルトゥール号が台風で遭難したときの和歌山県大島の地元の人達の献身的救助活動。このことを今でもトルコ国民は忘れていません。そして95年後(昭和60年)、イラン・イラク戦争の最中、パニック状態で空港で待つ日本人215人を乗せ日本に向かった2機の飛行機はトルコの飛行機でした」(勝氏のお話の中から)

「トルコへ旅行してみたくくなりました」「私達は忘れていましたね」の声に納得です。